

ThorensTD124 の導入(7) ーフォノイコライザーの検討(2)ー

1. 始めに

前報(6)に引き続き、フォノイコライザーについて試聴していきます。

2. ThorensTD124 の試聴方法

前報(6)の Brooklyn DAC+のフォノ入力に引き続き、iPhono で試聴します。iPhono も MC ダイレクトポジションと MM ポジションがあり、これまでの経験からトランス経由の MM ポジションを選択し、iPhono の出力を TruPhase に入力します。また、iPhono2 台を L/R 独立使用とし、電源は iPower 経由とし、DC ケーブルには iPurifierDC とフィルタライザーとアモルメットコアを装着しています。



カートリッジは、SPU Synergy とし、トランスを前報(4)においてニュートラルでもっとも細かいニュアンスが聴き取れた My Sonic Stage 1030 を使用します。

試聴音源は、前報(6)と同様、聴きなれた下記を使用しました。

LONDON SLC 1138

ファリャ 三角帽子

アンセルメ指揮スイスロマンド

ARCHIV(日本ポリドール) 28MA 0020

J.S.Bach チェンバロ協奏曲

トレヴァー・ピノック指揮イングリッシュユコンサート

harmonia mundi(Deutche) KUX-3248-H

ミトマニア

ベーレン・ゲスリン

キングレコード SKA-104

愛と自然の歌

倍賞千恵子

3. ThorensTD124 の試聴方結果

iPhono の出力を TruPhase に入力し、iPhono は、RIAA カーブ、Columbia カーブ、Decca カーブが選択できますので、TELDEC カーブに近い Decca カーブにしてみます。

三角帽子は、音の立ち上がりや切れ込みはそれほどでもありませんが、バランスのとれた聴きやすい音がします。

チェンバロ協奏曲は、解像度はそれほどでもありませんが、おだやかでウオームなバロックアンサンブルの再生となります。

ミトマニアは、ボーカルの抜けはさほどでもありませんが、ウオームでバランスがとれており、バックの古楽器の質感も確保されています。

倍賞千恵子は、おだやかで聴きやすいウオームなボーカルです。

同じソリッドステートのフォノイコライザーでも、前報(6)の Brooklyn DAC+ の透明度の高いクリーンな音に対し、iPhono はおだやかでウオームな音がします。

4. まとめ

iPhono は、解像度はそれほどでもありませんが、おだやかでウオームな音がします。

以上